

【ICTの活用】



意見を伝え合おう

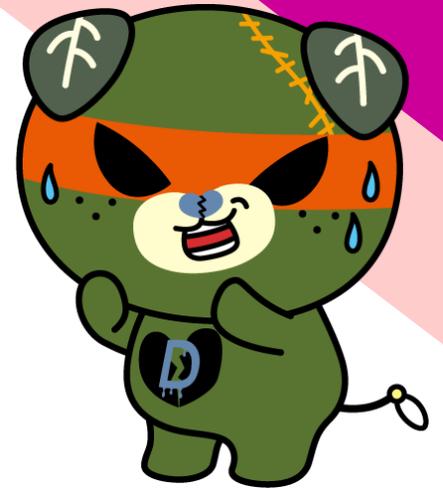
～協働学習支援ソフトを使用した実践～



実践例
第3学年
国語「こまを楽しむ」

複式学級の悩み

- 同学年の児童の考えに触れる機会が少ない。
- 多様な価値観に触れる機会が少ない。
- 友達の意見に流されてしまう。
- 間接指導の時間を充実させることが難しい。



他校の同学年と遠隔授業をしたい！

でも…

課題

- 相手校との事前打合せをする時間の確保
- 授業進度の調整
- 時間割の調整 など

ハードルが高い！

もう少し簡単に、互いの考えを知りたい！他校と交流したい！

提案

協働学習支援ソフト（ムーブノート※）を使って
他校の同学年の児童と意見交流を図ろう！

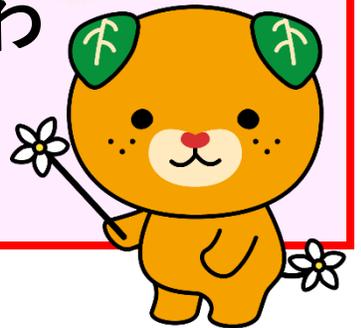
指導計画

段落とその中心を捉えて読み、感想を伝え合おう。
第3学年 国語科「こまを楽しむ」【全8時間】

- ① 「言葉で遊ぼう」の内容を捉える。
- ② **初め、中、終わり**の構成について捉える。
- ③ 「こまを楽しむ」の**初め、中、終わり**の構成を捉える。
- ④ **中**の答えに着目して、中心となる言葉や文を確かめる。
- ⑤ **終わり**は、**中**をどのようにまとめているか考える。
- ⑥ **六つのこまの中から遊んでみたいこまを選び、理由と合わせて自分の考えをまとめる。**
- ⑦ **考えを発表し交流する。**
- ⑧ 学習を振り返る。

⑥、⑦の内容が
交流の場面！

話し合う学習場面において、
ムーブノートを使用することで
他校と交流を図る！



課題

事前打合せの時間の確保や授業進度の調整、時間割の調整が難しい。

手立て

- 1 効率よく打合せをするために、オンライン等を活用する。
 - 指導計画を確認し、交流場面を決める。
 - 交流場面における教師と児童の動きを確認する。
 - 機器の操作方法について、共通理解を図る。
- 2 交流時の学習内容を分かりやすくするために、指導計画に沿って、各校共通で使用するワークシートを作成し、各校の児童に配信する。

成果

- オンライン等で打合せを行うことで、移動時間がなくなり、十分に話合いの時間を確保することができた。
- 交流場면을絞ったことで、当日の学習活動や教師の動きについて、具体的な計画を立てることができた。
- 機器の操作について事前に確認していたことで、児童が戸惑うことなく、集中してスムーズに学習することができた。
- 各校共通のワークシートを活用したことで、授業の進度や学習内容の調整を図ることができ、当日の充実した交流につながった。



他校の同学年の児童と意見交流を図ろう！

児童のワークシート

【意見交流の手順】

- ① 自分の考えをシートに書く。
- ② ムーブノート内の広場(※注)に自分のシートを送る。
- ③ ムーブノート内の広場にあるみんなのシートを読む。
- ④ ムーブノート内の広場にあるみんなのシートに感想等のコメントを記入する。
- ⑤ みんなのシートを読んで、よい点や感想など、全体で気付いたことや考えたことをコメント機能で伝え合う。



時間配分は大切！

私は、たたきごまで遊びたいと思いました。このこまは、回っているこまをムチでたたいて回転をくわえて、ながくたのしめるこまです。わたしは、すぐにこまが倒れてしまうので、たたきごまで遊びたいと思いました。

えらんだ理由

遊んでみたいこま
たたきごま

【課題】

手順①の、考えをまとめる時間も含めたシート記入に約23分もかかった。感想交流の時間を考えると、約15分間程度でシートを完成させる必要がある。

他校の同学年の児童と意見交流を図ろう！

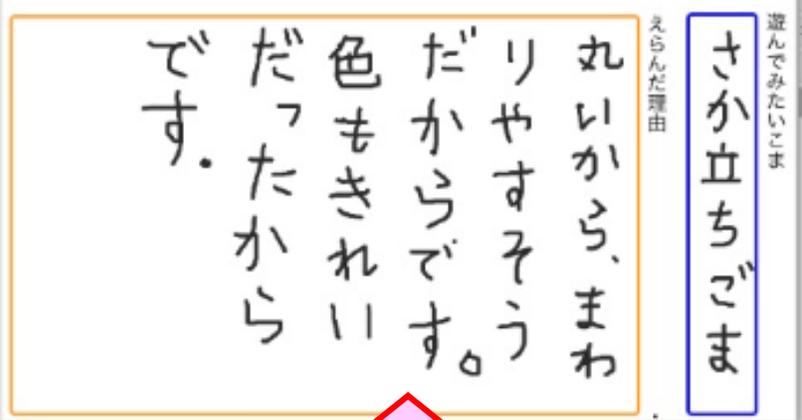
実践上の課題

児童がシートに記入するのに時間がかかる。

手立て

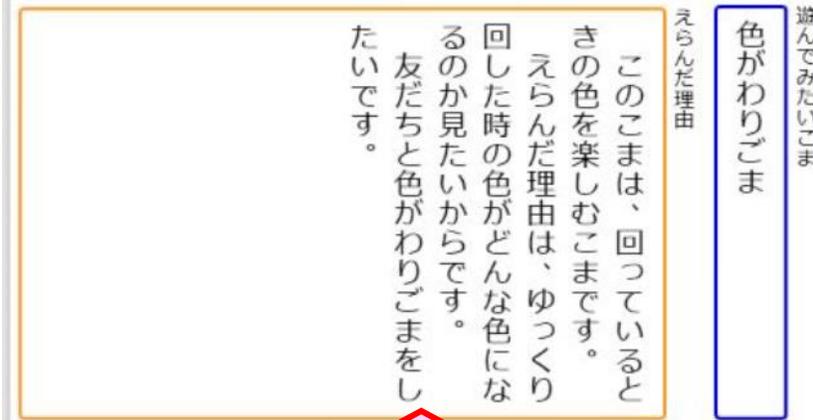
シートの記入方法や送り方を変える。

① タッチペンで手書きする



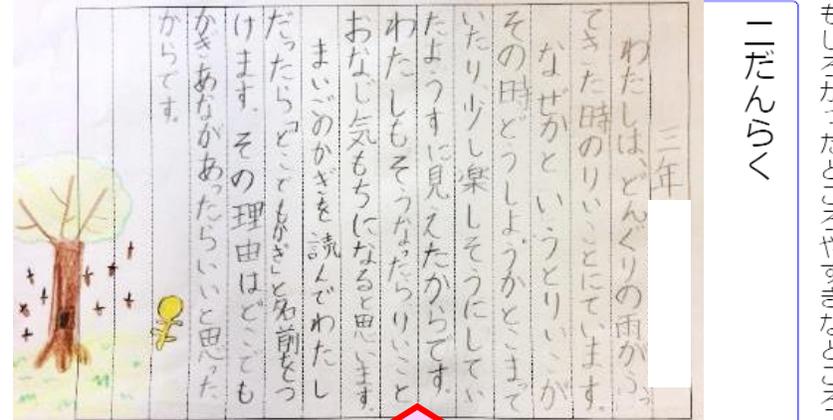
タッチペンでの手書きに慣れている児童に適している！

② キーボードで入力する



キーボード入力が得意な児童に適している！

③ ワークシートの写真を送る



紙に書くのがよい児童に適している！（書いた後、写真を撮って送る。）

CHECKPOINT!

事前に操作方法やシートへの記入の仕方を説明しておく、普段の学級内における意見交流の場面でも利用可能に！

間接指導中の質問がなくなり、児童だけで作業することができる。

他校の同学年の児童と意見交流を図ろう！

「みんなの広場」の様子

遊んでみたいこま
8
8

えらんだ理由

色がわりごま

私は、色がわりごまで遊んでみたいのです。
理由は、一度やったことがあってももう一度やってみたいと思ったからです。
もようが、かわったりするのが楽しいのでみなさんもやってみたいとおもいませんか。

実践の成果

みんなのシートやコメントをじっくり読むことができ、児童が考えを広げたり深めたりする活動につなげることができた。

【児童の感想】

- いろいろな考えがあって面白かった。同じ考えの人がいてうれしくなった。
- 友達の書き方が参考になったので、まねしてみたい。他校の友達とつながることができて、勉強をやる気になった。
- 友達の字がきれいだった。だから、もっと字を丁寧に書いていきたい。

はくしゅ 8人が拍手しています。

8件のコメントがあります

〇〇小 〇〇 〇〇

自分のしたいことは、なんなのかを書いているので、いいと思います。

他校の友達からコメントが届きました。
拍手もたくさんもらって、うれしかったよ♪



【まとめ】ICTを活用して意見を伝え合うと…

- ICTを活用してオンラインで教員同士の打合せをすることにより、時間を有効に使うことができた。
- 他校の友達と感想を伝え合うという目的があるため、間接指導時に児童自身が意欲的に書く活動に取り組むことができた。
- ソフトを活用し、他校の友達のことを繰り返し確認することで、考えを広げたり深めたりすることができた。
- 互いの意見を視覚的に短時間で確認することができた。
- 各校の時間割・学習進度で行うことができた。
- 学級全体や他校とも効率的に意見を共有できた。Jam board (※) を使っても同じように意見共有が可能である。 (※Googleが提供する電子ホワイトボードツール)



成果



課題

- 授業をスムーズに進められるよう、児童がソフトに慣れるための時間の確保が必要である。
- 相手校と連絡を取り合いながら授業進度や時間割の調整を行い、授業で交流する時間を長く確保できるよう工夫する。